

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業(実施状況・効果)

【通常分】

(単位：円)

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	予算額	総事業費 (実績額)	臨時交付金 (コロナ)	国県支出金	一般財源		
1	高齢者へのマスク配布	①高齢者の飛沫感染リスクの低減、感染症拡大防止 ②マスク代、配布にかかる運搬費用 ③@3,100×3,504人(75歳以上)【単価内訳：@55×50枚+郵送料350】 ④75歳以上	10,863,000	10,863,000	10,863,000	0	0	3,467人(75歳以上)に1人50枚のマスクを郵送により配布	高齢者の飛沫感染リスクの低減、感染症拡大防止につながった。
2	ひとり親家庭等臨時給付金	①新型コロナウイルス感染症により生活困窮しているひとり親家庭等への生活支援 ②児童扶養手当受給世帯に児童一人当たり2万円を支給 ③給付金 @20,000×288人=5,760,000円、通知文(通信運搬費) 25,970円 ④ひとり親家庭等	8,900,000	5,785,970	5,785,970	0	0	児童扶養手当受給世帯に対し、児童一人当たり20,000円(288人)を支給	新型コロナウイルスの影響により、子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯の生活を支援することにより負担を軽減することができた。
3	水道料金(基本料金)の減免	①水道料金の減免 ②王寺町水道事業会計に繰り出し、水道料金の減免に係る費用 ③@10,750,000×4ヶ月(7~10月)※減免期間の前後数ヶ月は事務上要する期間 ④王寺町水道部	43,000,000	39,454,550	39,454,550	0	0	経済的な支援策として水道料金の基本料金4ヶ月(7月~10月)を減免	新型コロナウイルスの影響を受けている住民、事業者の負担を軽減することができた。
4	感染防止対策用物品の購入	①飛沫感染リスクの低減、感染症拡大防止 ②③④ 1_大人、子ども用マスク 18,750枚×@55=1,031,250円 2_手指消毒用アルコール 斤舎、高齢者・障害者施設、幼・小・中学校 940ℓ×@1,198=1,126,120円 3_非接触型体温計の施設配備 幼小中8校、公立学童3、私立学童3、保健センター15施設×2本×@10,000=300,000円	2,458,000	825,212	825,212	0	0	マスク、消毒液、非接触型体温計、フェイスガード、防護服などを購入して、役場、幼稚園、小・中学校の各施設等に配布	学校や役場での飛沫感染リスクの低減や感染症拡大防止につながった
5	テイクアウト、デリバリー等事業者の販売促進支援	①事業者の売上を確保することで事業継続を図る。 ②王寺町商工会への補助 ③1_事業者情報の一元化ホームページ作成 800,000円 2_広報誌、新聞社折込広告 1,686,000円 3_住民が飲食店等で使える回数券 2,500円を町補助 @2,500×120セット×40事業者=12,000,000円 ④王寺町商工会	14,486,000	14,499,669	11,344,807	0	3,154,862	事業者情報を一元化するホームページのリニューアルのほか新聞(西和管内への折り込みチラシ)への広告等で販売促進を図る消費者が飲食店等で使える5,000円のプレミアム回数券事業町が2,500円を補助。	事業者の売上を確保することで事業継続を図ると同時に、消費喚起による新たな支出につなげることができた

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算額	総事業費 (実績額)	臨時交付金 (コロナ)	国県支出金	一般財源		
6	商工会員に対する個別相談会の開催	①新型コロナウイルス感染で影響を受ける商工会員に対して、中小企業相談士等を招いて感染症に関連して生じる問題や支援策に関する各種事業の申請手続きや経営指導強化として個別相談会を開催する ②王寺町商工会への補助 ③相談会@150,000×2回 ④王寺町商工会	300,000	285,531	285,531	0	0	事業者の事業継続や各種給付金・助成金施策をサポート、今後の経営指導強化として個別相談会を開催 相談件数 749件	コロナ禍の影響を受けた事業者が相談することで、今後の対応や対策などを学べ、事業継続を図ることができた。
7	休業等協力金	①県休業等協力金の支給決定者（但し、町商工会員で、町内に事業所を有し、町に納税している者に限る）に協力金を支給 ②王寺町商工会への補助 ③@100,000×70件 ④王寺町商工会	7,000,000	3,700,000	3,700,000	0	0	県休業等協力金の支給決定者（商工会員）に、100千円の協力金を支給 受付件数 37件(3,700千円)	休業による事業者の売上予定分を確保することで事業継続を図ることができた。
8	①学力保障（授業動画の視聴環境の整備）	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子どもたちの学力保障 ②③ オンライン環境の無い家庭への機器貸与 DVD（消耗品） 21,651円 DVD再生機器 @3,278×60台=196,680円 DVDコピー機 @127,028円×1機 ④小・中学校	420,000	345,359	345,359	0	0	視聴環境の無い家庭へのDVD再生機器(60台)の貸与等	コロナ禍の影響を受けている子どもたちの学力保障ができ、感染拡大防止にも繋がった。
9	②学力保障（図書カードの配布）	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子どもたちの学力保障 ②③ 図書カードを町内在住の3歳児から小中学生に配布 消耗品費 図書カード 8,355,000円=@3,000×2,785人 消耗品費 送り状 23,600円 通信運搬費 104,636円 ④町内在住の3歳児から小中学生	8,378,000	8,483,236	8,483,236	0	0	町内在住の3歳児～小中学生に一人3千円の図書カードを配布	コロナ禍の影響を受けている子どもたちの学力保障ができた。
10	準要保護世帯への昼食費補助	①準要保護世帯に臨時休校期間中(3か月)の給食費相当分を支給 ②地方負担分の扶助費 ③小学校@4,150×(109+102+103)人=1,303,100円 中学校@4,500×(74+60+60)人=873,000円 ④準要保護世帯	2,369,000	2,192,700	2,192,700	0	0	臨時休校期間中における準要保護世帯への給食費相当分の支給 対象期間 3ヶ月 小学校 106人 中学校 194人	コロナ禍の影響を受けた子育て世帯の負担を軽減することができた。

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算額	総事業費 （実績額）	臨時交付金 （コロナ）	国県支出金	一般財源		
11	給食費の減免	①配膳を伴わない簡易な給食を無償で提供（6/15～8/31） ②小中学校の給食費の無償化に係る費用（賄材料費に充当） ③小中学生（1,920人）、48日分、25,060千円 ④—	24,576,000	25,059,424	25,059,424	0	0	配膳を伴わない簡易な給食（パン、牛乳等）を6/15～8/31の期間（夏休み期間を除く）、無償で提供@250円×12日×1,920人=5,760千円 簡易給食の1日当たりの給食費単価を、50円引上げ（@200→@250） @50円×36日（7①8月）×1,920人=3,456千円	コロナ禍の影響を受けた子育て世帯の負担を軽減することができた。
12	自然体験活動推進事業（「冒険の森inおうじ」利用料金の助成）	①学校の臨時休業に伴う体力低下防止に向けた自然体験活動の推進 ②③④ 町内在住小学生から高校生までの子ども及び保護者（2人まで）の「冒険の森inおうじ」利用料金を1/2助成 子ども 2,634人×@600 ×利用率50%= 790,200円 保護者 5,268人×@1,250×利用率50%=3,292,500円 印刷（チケット等） @12.5×8,000部= 100,000円	4,183,000	522,700	522,700	0	0	町内に住む、小学生～高校生までの子どもたちとその保護者に、「冒険の森inおうじ」利用料の1/2を助成	「新しい生活様式」等感染症対策の観点を盛り込んで感染リスクの低い屋外施設アクティビティの利用を推進し、子どもたちの健康増進、体力低下防止に寄与した。
13	タクシー事業者向け新型コロナウイルス感染症対策支援事業	①飛沫感染リスクの低減、感染症拡大防止 ②タクシー事業者の感染症対策物品購入費への助成 ③間仕切り@2,500×64台 ④タクシー事業者	160,000	147,500	147,500	0	0	タクシー事業者が実施する飛沫感染防止対策物品購入費（2,500円×59台）への助成	飛沫感染リスクの低減、感染症拡大を防止するとともに、営業継続により、地域の公共交通の維持に寄与した。
14	「地域振興券」配布事業	①王寺町を事業主体として、期間（9/1～12/31）を限定して使用できる王寺町地域振興券を交付することにより、新型コロナウイルスにより影響を受けている住民への生活支援及び消費喚起により地域経済活性化を図ることを目的とする。 ②事業費121,210千円+事務費19,000千円 ③補助金 121,210千円=24,242人（王寺町人口）×5千円、委託料 19,000千円 ④王寺町の全住民 ※奈良県補助金「県内消費喚起支援事業補助金」を活用 ※奈良県補助金「社会経済回復「奈良モデル」応援補助金」を活用	261,210,000	259,282,413	138,289,413	120,993,000	0	住民に町内で使える「地域振興券（1人あたり10,000円分）」を、全住民を対象に10,468世帯へ郵送にて配布 利用店舗数172店舗 配布冊数24,242冊	事業者の売上を確保することで事業継続を図るとともに、住民の負担を軽減することができた。
15	新生児への特別定額給付金事業	①④ 国の特別定額給付金（10万円）の対象外となるR2.4.28からR3.3.31までに生まれた新生児を対象に5万円を給付する。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた地域経済及び妊婦等の生活を支援する ②事業費8,500千円+事務費100千円 ③給付額 @50千円×170人 8,500千円 事務費 100千円（内訳）通信運搬費 67千円、消耗品費 33千円 ※奈良県補助金「社会経済回復「奈良モデル」応援補助金」を活用	17,100,000	17,098,720	8,598,720	8,500,000	0	国の特別定額給付金の対象外となるR2.4.28からR3.3.31までに生まれた新生児（170人）に支給	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、不安を抱えながら妊娠期を過ごされ、子どもを出産し、育児を行う子育て世帯の負担を軽減することができた。

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算額	総事業費 （実績額）	臨時交付金 （コロナ）	国県支出金	一般財源		
16	遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業	①学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用して全ての子どもたちの学びを保障するとともに、国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現 ②遠隔学習：上乗せ・継足しは地方財政措置で事業を進める PC端末：児童生徒数1/3は地方財政措置で事業を進める ③遠隔学習の機器整備（カメラ・マイク）のうち継足し分 @35千円（税込）×19セット（24-補助分5）=665千円 通信機器について国からの定額補助（10千円/台）への上乗せ分 @20千円（税込）×50台=1,000千円 3人に1台分のうち未整備分 @55千円（税込）×942台=51,810千円 3人に2台分について国からの定額補助（45千円/台）への上乗せ分 上乗せ単価 @10千円（税込）×1,228台=12,280千円 ④町内小中学校5校	62,620,000	58,950,000	58,950,000	0	0	学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用して全ての子どもたちの学びを保障するための端末整備や家庭学習のための通信機器整備等（Wi-Fi環境のない世帯への貸与機器）  生徒端末 2,025台 教師用端末 145台	分散授業や休校時の自宅学習に対応できるようになり、安定した学習環境を提供することができた
17	避難所における感染拡大防止対策	①避難所における感染拡大防止対策として、簡易テントや消毒薬等の資材を避難所に備蓄するための経費に充当 ②③ 指定避難所(11箇所)における感染拡大防止対策物品 ・段ボールベッド @8,778×110個(11箇所×10個) ・間仕切り @4,378×110個(11箇所×10個) ・上記2点の運送料 @84,700 ・簡易テント 小計：9,438千円（11箇所×20個） （内訳）簡易テント1 @66,000×10個 簡易テント2 @41,800×210個 ・サーキュレーター @4,620×110個(11×10個) 指定避難所(11箇所)従事者のための感染症対策物品の在庫を補完し、各避難所10人分(計110人分)を確保 ・医療用 126千円 （内訳）防護服 @1,188×72着 その他消耗品 40千円 ・消毒用 109千円 （内訳）防護ズボンS @393×45着 // LL @825×45着 計90着 その他消耗品 54千円 ④指定避難所11箇所 ※奈良県補助金「社会経済回復「奈良モデル」応援補助金」を活用	15,520,000	14,251,243	11,570,243	2,681,000	0	指定避難所における感染拡大防止対策物品(段ボールベッド、間仕切り、ファンタッチテント、サーキュレーター等)を購入 指定避難所従事者のための感染症対策物品の在庫を補完	避難者の感染症拡大防止につながることで、不安を軽減し、安心できる避難所を提供できた。
18	公共施設における感染拡大防止対策	①公共空間での感染機会を削減することを目的として、飛沫防止パネルやサーマルカメラの経費に充当 ②③備品購入費 ・サーマルカメラ 250千円×3台=750千円 ・パネル 285個（窓口65個、会議室等220個）1,976千円 ④文化福祉センター、いずみスクエア、王寺アリーナ	2,726,000	2,429,075	2,429,075	0	0	サーマルカメラ3台、パネル285個を文化福祉センター、いずみスクエア、王寺アリーナの各施設に設置	サーマルカメラにより来庁者の発熱などをすぐ感知でき、パネルにより飛沫感染防止につながった。
19	三室休日応急診療所における感染症対策施設改修	①診療所の一部を改修し発熱及び感染症患者専用の診察室等を設け、医療提供の場を確保する ②③工事にかかる分担金 2,149千円 ④三室休日応急診療所	2,149,000	2,149,000	2,149,000	0	0	診療所の一部を改修し発熱及び感染症患者専用の診察室等を設けるための改修工事費の分担金	発熱及び感染症患者専用の診察室を設けることにより、感染拡大防止になった。

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算額	総事業費 （実績額）	臨時交付金 （コロナ）	国県支出金	一般財源		
20	香芝市・葛城市・北葛城郡コロナウイルスPCR検査センターの運営	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2市4町（香芝市・葛城市・上牧町・王寺町・広陵町・河合町）と北葛城地区医師会が協力してドライブスルー方式でPCR検査を実施 ②③負担金 1,552千円 ④奈良友誼会病院、生喜病院	1,552,000	1,520,356	1,520,356	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2市4町（香芝市・葛城市・上牧町・王寺町・広陵町・河合町）と北葛城地区医師会が協力してPCR検査を実施 実施箇所 奈良友誼会病院、生喜病院	ドライブスルー方式でPCR検査を受けることで感染症拡大防止につながった。
21	電子図書館の開設	①「新しい生活様式」に対応するため、自宅等で読書を楽しむことが出来るシステムを導入 ②③システム導入委託 770千円、電子図書購入 5,000千円 ④図書館	5,770,000	5,716,917	5,716,917	0	0	図書館をもっと身近に便利に利用いただけるように、来館することなく、いつでもどこにいても、インターネットを通じて電子書籍の貸出・返却が可能な電子図書館の導入	図書館へ訪問することなく貸出できることで、感染症拡大防止につながった。
22	子ども・子育て支援交付金	（子ども・子育て支援交付金） ①・小学校の臨時休業に伴い、町立及び民間学童保育所を午前中から開設するための人材確保等に要した経費 ・感染防止を徹底するための利用自粛要請（4/1～6/30）に伴い、町立及び民間学童保育料の返還に要した経費 ②③報酬、旅費、委託料 ④学童保育所 ※子ども・子育て支援交付金を活用	3,731,000	14,008,888	3,731,000	9,338,000	939,888	小学校の臨時休業に伴い、町立及び民間学童保育所を午前中から開設するための人材確保等に要した経費 感染防止を徹底するための利用自粛要請（4/1～6/30）に伴い、町立及び民間学童保育料の返還に要した経費	小学校の臨時休業で子どもの世話が仕事でできない世帯の負担等を軽減。 利用自粛に伴い影響を受けた子育て世帯の負担を軽減することができた。
23	学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る）	（感染症対策のためのマスク等購入支援事業） ①②③感染症対策のためのマスク、非接触型体温計等の保健衛生用品の購入 326千円 ④小中学校	326,000	652,000	326,000	326,000	0	小学校3校、中学校2校にマスクや非接触温度計などの保健衛生用品を購入し配布	飛沫感染リスクの低減や感染症拡大防止につながった。
24	文化芸術振興費補助金	（文化施設の感染症防止対策事業） ①②③感染症対策のためのマスク、消毒液等の購入 910千円 ④文化施設（やわらぎ会館、文化福祉センター、いずみスクエア）	910,000	1,820,266	910,000	910,000	266	文化施設の利用者の感染症対策のためのマスク、消毒液等を完備し配布等を行う	飛沫感染リスクの低減や感染症拡大防止につながった。
25	教育支援体制整備事業費補助金	（補習等のための指導員等派遣事業） ①児童生徒の補習等に要する学習支援員（学校いきいきプラン講師・スクールサポートスタッフ・雪丸学び塾支援員）の配置 ②③報酬、旅費、報償費 4,795千円 ④小中学校 ※教育支援体制整備事業費補助金（県支出金分）を活用	4,795,000	8,813,480	2,940,480	5,873,000	0	学習指導員を配置することにより、教師の授業、事務の軽減。 コロナ感染予防対策の実施も速やかに行う	児童生徒の学習水準を維持 細やかな感染症対策が実施でき、児童生徒及び教職員の感染リスクの低減や感染拡大防止につながった

No	実施計画			実績				事業実績	事業成果
	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	予算額	総事業費 （実績額）	臨時交付金 （コロナ）	国県支出金	一般財源		
26	教育支援体制整備事業費補助金	（補習等のための指導員等派遣事業） ①児童生徒の補習等に要する学習支援員（学校いきいきプラン講師・スクールサポートスタッフ・雪丸学び塾支援員）の配置 ②③報酬、旅費、報償費 8,066千円 ④小中学校 ※教育支援体制整備事業費補助金（県支出金分）を活用	8,066,000	25,444,739	9,970,739	15,474,000	0	学習指導員を配置することにより、教師の授業、事務の軽減。 コロナ感染予防対策の実施も速やかに行う	児童生徒の学習水準を維持 細やかな感染症対策が実施でき、児童生徒及び教職員の感染リスクの低減や感染拡大防止につながった
27	学校保健特別対策事業費補助金 （学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る）	（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業） ①②③感染症対策のためのエアコン、大型扇風機等の購入 7,500千円 ④小中学校	7,500,000	14,668,230	7,334,230	7,334,000	0	WiFi環境構築機器や空気清浄機及び大型扇風機等の購入により、コロナ感染の対策を図る	WiFi環境が整い、リモート会議をすることで感染拡大防止につながった
28	公立学校情報機器整備費補助金	（学校からの遠隔学習機能の強化事業） 学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用して全ての子どもたちの学びを保障 ②③遠隔学習の機器整備（カメラ・マイク） 単価 @35千円（税込）×5セット＝国庫87千円＝88千円 ④小中学校	88,000	136,180	68,180	68,000	0	学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用して全ての子どもたちの学びを保障する遠隔学習の機器整備（カメラマイク）68千円、教職員がICT端末を効果的に活用した授業を行うための支援や教職員のICT活用指導力及び情報セキュリティ、情報モラル意識の向上を図るため、ICT支援員を配置	休校時の自宅学習に対応できるようになり、安定した学習環境を提供することができた
29	公立学校情報機器整備費補助金	（GIGAスクールサポーター配置支援事業） ①学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用して全ての子どもたちの学びを保障するため、国が進めるGIGAスクール構想を実現する ②③GIGAスクールサポーター委託料 1,600千円 ④-	1,600,000	3,195,000	1,598,000	1,597,000	0	学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用して全ての子どもたちの学びを保障 GIGAスクールサポーターの配置 1,600千円 ※うち850千円をR3年度に繰越	分散授業や休校時の自宅学習に対応できるようになり、安定した学習環境を提供することができた
30	オンライン配信システムの構築	①感染症対策のためのイベントのオンライン実施に要するシステム構築 ②③LAN回線の配線工事 @300千円×5箇所＝1,500千円 配信機材 ビデオカメラ100千円、配信用PC 200千円 テレビモニター 200千円×2台＝400千円 ④やわらぎ会館、いずみスクエア、文化福祉センター、地域交流センター	2,200,000	1,597,658	1,597,658	0	0	LAN回線の配線工事、配信機器の購入を行い、オンライン配信システムの構築	来場者に制限を設けたイベントをオンライン配信をすることで、来れない方も参加できるように実施
合計			524,956,000	543,899,016	366,710,000	173,094,000	4,095,016		